

文化七尾



第42号



新春に贈る



七尾市文化協会
会長 橋元 道彦

「心の花」で「心に花」を

「心の花」で「心に花」を

咲かそうよ

無心に太鼓、バチ捌く子等に

「心の花」が咲いている

聴き入る人のそれぞれに

「心に花」が咲きほこる

私たち、いつもどこでも

「心の花」で「心に花」を

咲かそうよ



文化協会賞

長年の文化功労者として表彰された皆様



【文化賞】
西宮 幸男氏

昭和43年に七尾市職員の傍ら「七尾まだら」を始め、昭和46年には市役所まだら愛好会（後のまだら伝承会）にて唄の指導を行う。昭和58年に七尾まだら愛好会、昭和63年には七尾まだら保存会にそれぞれ加入され、現在も七尾まだら伝承会相談役として唄の指導する熱意は止まない。



【文化賞】
河合百合子氏

昭和45年から「ドルチェ・ママ」の代表世話人として活動され、合唱団の生みと育ての親である。中でも2代目の庶務会計・第4代の団長として模範を示され、後の団長・役員のサポート役、また七尾市音楽文化協会及び七尾市文化協会のボランティア事務職員なども務められ、正に文化活動のリーダーとしての役割を果たされた。



【文化賞】
松本真寿子氏

七尾市ならではの郷土料理の普及推進に、「おこぜの会」の一員として現在も尽力されている。とりわけ設立10周年を迎えた平成26年には、「等伯に寄す」のテーマのもと、安土桃山時代の料理を研究され、戦いや長旅の健康を守ったとされる「蘇」作りに東奔西走された。平成24年には、食生活改善事業厚生労働大臣賞を受賞されている。



【文化賞】
平泉 一穂氏

昭和39年、21歳の若さで日展初入選の偉業を成し、七尾の美術文化部門の歴史においても今は後はないであろう存在である。常に県下の図工・美術研究会を牽引され、七尾美術作家協会でも50年にわたる作家活動、常任理事、七尾市美術展覧会審査員を務められた。また、児童会館の絵画指導も20年間務められている。



【文化賞】
久保由美子氏

三味線を始めて35年、指導者として30年の永きにわたり中島（1教室）と七尾（3教室）にて50余名の後進指導・育成に多大なる尽力をされた。所属する城山民謡会でも三味線伴奏唄、またその他の音楽活動にも積極的に参加され、現在でも広く伝承共能の発展に精力的に活動されている。

平成28年 新春の集い

七尾市文化協会の「平成28年 新春の集い」は、去る1月9日（土）に会員等208名が参会し、和やかに開催されました。

今年は、杵旗祭り太鼓保存会による祝賀曲「杵旗祭り太鼓第3場」の熱演で幕を開け、橋元道彦七尾市文化協会会長が、協会員への新年の志として「心の花」で「心に花」を」と挨拶。続いて、不嶋豊和七尾市長ほか来賓祝辞後、垣内武司七尾市議会議長が乾杯の発声をし、今年一年の活躍を祈念しました。

アトラクションでは、三味線、民謡と祝賀の舞台が催され、宴の締めには七尾まだらを参会者全員で合唱し、会員相互の親睦を深めました。





【文化賞】
松井十九一氏

石川県指定無形文化財民俗芸能「七尾まだら」の悠暢温雅な曲節に合わせ、荘厳華麗に舞い踊ることに感銘され、25歳から地域の歌い手として名を馳せた。保存会に求められて人会し、確固たるまだらの地方として活動され、「七尾まだら保存伝承師」としても認定されている。



【功労賞】
尾田 洋子氏

昭和59年に能登川柳会に入会し句会に参加され、川柳の作句に取り組んでいる。また、七尾文芸のつどいでは選者、世話人として活動している。長年、能登川柳会の会報の作成に携わり、表紙のカラー化など現在のスタイルに改良するなど、尽力されている。

文化邁進

ぶんかまいしん

七尾市を離れて活躍している文化人を訪ねて……①

声楽家 メゾソプラノ **鳥木 弥生**さん



【略歴】
七尾市出身
武蔵野音楽大学音楽学部
声楽学科卒業
現在、藤原歌劇団所属



Q2 オペラを聞くには、何かしらの心構えが要りますか？

東京の藤原歌劇団で活躍中の鳥木弥生さん。七尾市では昨年も素晴らしいステージを見せてくれましたが、石川県立音楽堂ではオペラ「滝の白糸」に出演され、書生・村越欣弥の母を見事に演じられました。

Q1 声楽家になるきっかけは？

幼少時から歌が好きで、演歌やシャンソン、アニメソングなどを歌っていました。

声楽、という道があると知ったのは中学生の時です。金沢辰巳丘高校の音楽コースで声楽を専攻し、武蔵野音大に進学しました。しかし、本当に声楽家、オペラ歌手になろうと決めたのは大学4年生の時、ロシアの大歌手テレナ・オブラストワさんから、「あなたは世界でも成功する素質がある」と認められた時でした。

Q4 今年の抱負や活動予定をお聞かせください。

今年はずまず東京と秋田の二ヶ所でゼーの「カルメン」を歌います。その後はスペインに行き、プッチーニ作曲「蝶々夫人」に出演します。所属する藤原歌劇団の公演では、9月にロミオとジュリエットの伝説を基にしたベッリーニのオペラ「カプリチオ」とモンテッキ家のロミオ役で男装の麗人？にも挑戦します。実はすごく似合いますので、ぜひ観に来ていただきたいと思っています。他には、自宅のある東京、西多摩地区で子供達に歌やお芝居の楽しさを教えるミュージカル教室を他の歌手仲間やダンサー、演出家の方と一緒にやっていて、その発表会ではサウンドオブミュージックのメリア役も演じる予定で、私にとっては新しいジャンルなので、子供達との共演も含め、非常に楽しみです。

Q2 オペラを聞くには、何かしらの心構えが要りますか？

最近はず幕がほとんどの公演でついでいますので滝の白糸にもついていますが、予習なしでも楽しめます。

オペラはだいたい筋もとてもわかりやすいので、洋画を見るくらいの心づもりか、それより軽い気持ちでも充分です。

Q3 歌が上手になるコツは？

どのように、どんな感情や、情景を伝えるために歌うのか、具体的にイメージして歌うことです。

テクニクでは、たとえ日本語でも子音と母音を別々に考えて、何の子音と何の母音を歌っているのか意識することで上手に歌えるようになるかもしれません。

とにかく、自分が何を歌うのか深く理解してから声を出すのが大切です。

Q5 七尾市の皆さんに一言お願いします。

世界のどこで歌っていても、七尾で生まれて良かったなあ、とよく思います。

七尾に帰って歌うと、もっとそう思います。まだ詳細は未定ですが、11月には七尾で歌う予定もありますので、ぜひ皆様にお会いしたいです。



事業名	日時	主催者・会場名	内容
本咲き雪割草銘品展	3月5日(土) ～3月6日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:30まで)	主催 七尾山草会 会場 能登食祭市場 1階 里山里海小路	ひとあし早い春の花雪国の妖精雪割草の競演をお届けします。会員が愛 培した色華やかな花を展示し併設として苗の即売コーナーもあります。 入場料/無料 ㊟☎52-2758 春木 政弘 ☎57-2023 垣内フrawー
第13回 石川県 NOTOピアノコンクール 入賞者演奏会	3月20日(日) 13:00～16:30 (開場:12:30)	主催 石川県NOTOピアノ コンクール実行委員会 会場 七尾サンライフプラザ 大ホール	8月に行われた、石川県NOTOピアノコンクールの幼児部門、小学・中学・ 高校・大学・一般部門で入賞された方々の演奏会です。 入場料/無料 ㊟☎53-0001 石川県NOTOピアノコンクール事務局 (株)ミヤコ内 平野 デュオ(2台ピアノ)の楽しみを体感するコンサートです。石川県にゆかり のあるデュオ・グレイス(宮谷理香 高橋多佳子)をお招きし、2台のピアノが 奏でる美しいハーモニーをお聴きください。 入場料/前売り 大人1,500円、高校生以下1,000円 ※当日券500円高 ㊟☎53-0001 石川県NOTOピアノコンクール事務局 (株)ミヤコ内 平野 HP: http://ishikawaken-noto-piano-concours.com
宮谷理香&高橋多佳子 デュオ・グレイス ピアノコンサート	3月20日(日) 17:30～19:00 (開場:17:00)	主催 石川県NOTOピアノ コンクール実行委員会 会場 七尾サンライフプラザ 大ホール	一年中で一番寒い時でございますが、何とか暖かくして一服さし上げたく、 ご来席お待ちしております。 茶会料/1,500円 ㊟☎52-5999 七尾市川原町89 土田 宗友
七尾茶道会 月釜	2月21日(日) 8:30～15:00 3月20日(日) 9:00～14:00 (開場:8:30)	主催 七尾茶道会 会場 本龍寺(七尾市郡町) 主催 七尾茶道会 会場 本龍寺(七尾市郡町)	春めいてまいりました。お茶一服をどうぞお気軽にお立寄り下さいませ。 茶会料/1,500円 ㊟☎52-2342 勝田社中

第44回 七尾市民音楽祭

「ふるさと文化に火を灯そう」

日時 平成28年 3月27日(日)
開場 12時30分
開演 開演 13時 終演 16時
会場 七尾サンライフプラザ 大ホール
入場 無 料

主催:七尾市文化協会
共催:七尾市教育委員会
主管:第44回 七尾市民音楽祭実行委員会
後援:北国新聞社・テレビ金沢・エフエム石川
ラジオかなざわ・ラジオななお



【出演団体】 七尾吹奏楽団・70ラブサウンズ・「502」・能登ピアノレスナー会・
俊友会合唱団・女声合唱団「ドルチェ・ママ」・歌謡 小菊会
ルビーフォーク・古典フラ プアリリ・中島町フォークダンスサークル
《問合せ先》 橋屋 携帯090-8261-3144

がんばっとるげん

◇◇会員団体を紹介◇◇

七尾子ども劇場

七尾子ども劇場は5月で40周年を迎えます。
「生の芸術を見る」ことと「たくさんの仲間とあそぶ」こと!
これが子ども劇場の2本の柱です。子ども時代はあっという
間。おやこで一緒に過ごす時間は宝物ですね。子ども劇場
に入って、子どもの「心の中の引き出し」をたくさん作りま
しょう。

高学年でみよう♪ 3/12(土)
人形劇 人形劇団ほろぎ星・若杉合唱の会
場所/美術館アートホール
開演/18時30分
合唱と語りの人形劇
次郎の
たいこ

低学年でみよう♪ 3/12(土)
紙芝居 のまりんのかみしばい
場所/矢田郷公民館 ホール
開演/14時
のまりん
紙芝居

登録料 ひと家族 ¥500
会費(月々) ... (4歳以上) ひとり¥1,200
4歳未満は無料です。

※会費は、子ども劇場すべての運営をしていくためのもので
営利を目的としていません。

お問い合わせ ☎926-0021 七尾市本府中町モ 64
池田家内 七尾文化協会 2F
七尾子ども劇場 (メール) tomoe @ notonet.com

将棋愛好会

以前は20数人の会員がいて毎週火曜日、愛好者が寄っ
て将棋を楽しんでいましたが、だんだん減り今では少人数
になってしまいました。そのため、毎週開く事も出来ず、年
に4～5回程度になってしまっております。将棋は思考力の
つく良いゲームと思いますので、皆さん将棋にぜひ関心
を持って集まって下さい。

尚、毎年文化の日を中心に大会を行っていますので、沢山
の人が来てくれるのをお待ちしております。

練習日時・場所
・サンビーム日和ヶ丘 研修室
・田鶴浜農村環境改善センター

連絡先
☎68-2347 寺井 文昭
☎68-2192 大橋 吉幸



発行 七尾市文化協会

〒926-0021
七尾市本府中町モ64池田家内
TEL 53-0596 FAX 54-8550
Eメール: mail@bunka-nanao.jp
ホームページ: http://www.bunka-nanao.jp

編集委員 大橋覚 谷口忠 細川一絵 家村静江 平田嘉則
発行日 2016年2月5日

会員のみなさまへ

※『文化七尾』次回43号は平成28年4月5日発行となります。
原稿締切は、平成28年3月10日です。

表紙題字: 清水 聖鵬